



多くの皆様のご利用に感謝!

保呂羽山少年自然の家は11月1日から閉所期間に入っています。今年度も4月から10月まで、小学校を中心に多くの団体にご利用いただき、ありがとうございました。現在は出前講座と来年度に向けた準備をしています。運営協議会の委員の皆様からいただいたご助言を参考にしながら、利用者の増加と活動内容の充実に努めていくつもりです。

保呂羽山少年自然の家の利用状況（10/31まで）

年度	種別 利用者数	小学校	中学校	幼稚園 保育園	特別支 援学校	高 校	大学等	子供会	少年 団体	PTA	行 政	その他	合 計
H28	団体数	79	12	14	0	3	3	2	9	1	15	49	187
	利用者数	6389	1246	849	0	171	163	69	476	41	548	3503	13455
H29	団体数	84	12	10	0	2	4	7	5	0	11	149	284
	利用者数	7095	947	413	0	128	240	266	326	0	581	2854	12850

（その他は表記載以外の団体利用者、主催事業利用者、打合会参加者分）

H29体験活動ベスト5

体験活動第1位 カヌー



今年度の体験活動の第一位は、カヌーでした。小学校は61校の入所がありましたが、すべての学校でカヌーを実施しました。ほとんどの子どもたちが満足感を得ているようです。また、第四位のPA（プロジェクトアドベンチャー）は、今年度道徳の時間との関連を図った取組を実施しました。道徳的実践力の育成に一層貢献していきたいと考えています。

体験活動第2位 ナイトハイク



体験活動第3位 野外炊飯



体験活動第4位 PA



体験活動第5位 追跡ハイク



子どもたちの感想から

保呂羽山宿泊体験学習では3つのことを学ぶことができました。まず一つ目は、「協力する大切さ」です。PAや野外炊飯では、絶対にみんなと協力しないと成功できないと思ったからです。二つ目は、「挑戦する大切さ」です。初めてのカヌーでみんな不安だったと思うけどちゃんとお話を聞いて、上手にこげるようになりました。三つ目は、「責任をもって行動すること」です。三日間責任を持って行動したことで楽しく過ごすことができました。この3つのことをこれからの生活でも大切にしていきたいです。
(小学校5年 女子)

私は保呂羽山宿泊学習を通して、「みんなを信じること」「みんなと協力すること」「声をかけ合うこと」が大切だと思いました。「みんなを信じること」はプロジェクトアドベンチャーで、「みんなと協力すること」は野外炊飯で、「声をかけ合うこと」はナイトハイク、マップリーディングで学びました。この3つは、仲間と過ごしていく上ですごく大切なことだと思いました。このことをこれからの生活に生かしていきます。
(中学校1年 女子)

「確かめ合おう 大切なもの 光と風と緑の中で」これは、ほろわんぱーくのスローガンです。子どもたちは、ほろわんぱーくの宿泊体験学習を通して、人が生きていく上で大切なことに気づき、この後の生活に生かしていきたいという意欲を高めています。ほろわんぱーくの宿泊体験を通して「子どもたちにどんな力を育てたいのか」を学校と保呂羽山少年自然の家の担当者間で共通理解を図って進めていきたいと考えています。

来年度も保呂羽山少年自然の家をご利用いただきますようよろしくお願いいたします。